

東京経大会誌

— 経済学 —

NO. 273

2012

野田弘英教授退任記念号

野田弘英教授近影

野田弘英教授退任記念号の発刊に寄せて……………手塚 眞

野田弘英教授年譜ならびに主要業績目録

論 文

資本蓄積論の構想によせて……………宅 和 公 志

アダム・スミスの労働価値論の再構成

——労働、共感および穀物の栄養的価値——……………高 哲 男

ナロウバンク論再論……………原 田 善 教

銀行信用論体系化への試論——時間と空間の経済学——……………鳥 谷 一 生

「ドル本位制」に関する一考察……………松 浦 一 悦

生産業資本 $G - W \cdots P \cdots W' - G'$

——資本の具体的形式論の展開3——……………小 島 寛

欧州協力独立連盟から欧州経済協力連盟へ……………小 島 健

社会経済システムの転換としての復興計画（1）……………長 島 誠 一

持続可能な消費——二つのバージョン（2）……………福 士 正 博

研究ノート

英国のニュー・レイバーの経済政策（その2）……………江 藤 勝

東京経済大学経済学会会則（抜粋）

- 第1条 本会は、東京経済大学経済学会と称する。
- (2) 本会の事務局は、東京経済大学経済学部におく。
- 第2条 本会は、経済学およびこれに関連する研究並びにその普及を目的とする。
- 第3条 本会は、前条の目的を達成するために、次の事業を行う。
1. 学会誌『東京経済大学会誌－経済学－』の発行
 2. 研究会および講演会の開催
 3. その他理事会において適切と認めた事業
- 第4条 東京経済大学の専任教員および名誉教授は、申し込みにより本会の普通会员になることができる。
- 第5条 東京経済大学の卒業生および同大学院研究科の在籍者・卒業生は、申し込みにより特別会員になることができる。
- (2) 普通会员1名の推薦を得た者は、理事会の承認により特別会員になることができる。
- 第6条 本会の会費は別に定める。

『東京経済大学会誌－経済学－』投稿規定

- 第1条 東京経済大学経済学会会員および教育・研究機関に所属する研究者（大学院生を含む）は、投稿の資格を有する。
- 第2条 投稿原稿は、経済学、法学および関連領域に関する学術論文・研究ノート・書評とする。
- 第3条 原稿枚数は原則として次の通りとする。
1. 論文：400字詰め原稿用紙80枚（注および図・表を含む）以内
（欧文の場合は、A4サイズ用紙、1行65ストローク、ダブルスペースで1ページ30行として、32枚以内）
 2. 研究ノート：同じく60枚以内（欧文では同じく24枚以内）
 3. 書評：同じく15枚以内（欧文では同じく6枚以内）
- なお、投稿論文には「欧文タイトル」と「欧文氏名」をつけ、ワープロ入力したフロッピーを添付すること。
- 第4条 投稿原稿の採否は、必要に応じて査読制度による審査のうえ編集委員会で決定する。
投稿原稿が多数の場合、非会員の投稿原稿は受理されないことがある。

本誌への投稿希望者は、上記の投稿規定をご参照のうえ、下記の住所の学会誌編集委員会宛に原稿3部をお送り下さい。

原稿送付先：

〒185-8502 国分寺市南町1-7-34 東京経済大学経済学部
東京経済大学経済学会 学会誌編集委員会
電話 042-328-7743 FAX 042-328-7772

目次

野田弘英教授退任記念号

野田弘英教授近影

野田弘英教授退任記念号の発刊に寄せて……………手塚 眞…	3
野田弘英教授年譜ならびに主要業績目録……………	5

論文

資本蓄積論の構想によせて……………宅和公志…	11
アダム・スミスの労働価値論の再構成 ——労働、共感および穀物の栄養的価値——……………高 哲 男…	25
ナロウバンク論再論……………原 田 善 教…	47
銀行信用論体系化への試論 ——時間と空間の経済学——……………鳥 谷 一 生…	61
「ドル本位制」に関する一考察……………松 浦 一 悦…	81
生産業資本 $G - W \cdots P \cdots W' - G'$ ——資本の具体的形式論の展開3——……………小 島 寛…	103
欧州協力独立連盟から欧州経済協力連盟へ……………小 島 健…	123
社会経済システムの転換としての復興計画（1）……………長 島 誠 一…	139
持続可能な消費 ——二つのバージョン（2）……………福 士 正 博…	157

研究ノート

英国のニュー・レイバーの経済政策（その2）……………江 藤 勝…	177
----------------------------------	-----

執筆者紹介（掲載順）

手塚	眞	本学経済学部長・教授
宅和	公志	日本大学商学部教授
高哲	男	九州産業大学大学院経済ビジネス研究科教授
原田	善教	東北学院大学経済学部教授
鳥谷	一生	京都女子大学現代社会学部教授
松浦	一悦	松山大学経済学部教授
小島	寛	本学教授
小島	健	本学教授
長島	誠一	本学教授
福士	正博	本学教授
江藤	勝	本学教授

東京経大会誌 第273号

<非売品>

発行 2012年2月29日
編集者 牛尾吉昭
代表集人 東京経済大学経済学会
編行 集人

〒185-8502 東京都国分寺市南町1-7-34
電話 042-328-7743（直通）
FAX 042-328-7772

印刷・製本 株式会社 春恒社
〒169-0072 東京都新宿区大久保2-4-12
電話 03-5291-6231（直通）

送付に関するお問い合わせ先
本学では、「紀要」交換業務は、図書館が行っております。
東京経済大学図書館・「紀要」担当
〒185-8502 東京都国分寺市南町1-7-34
電話 042-328-7763（直通）
FAX 042-328-7777

THE JOURNAL OF TOKYO KEIZAI UNIVERSITY

No.273

February 2012

CONTENTS

The Portrait of Professor Hirohide NODA	
On the Publication of the Special Issue	
Dedicated to Professor Hirohide NODA	Makoto TEZUKA··· 3
Brief Biography and Bibliography of Works	5

Articles

A Plan for the Theory of Capital Accumulation.....	Koshi TAKUWA··· 11
The Reinterpretation of Adam Smith's Labor Theory of Value —Labor, Sympathy and the Nutritional Value of Corn—.....	Tetsuo TAKA··· 25
On Narrow Banking Again.....	Yoshinori HARADA··· 47
An Essay on Banking Theory — Economics of Time and Space—	Kazuo TORITANI··· 61
A Study on the US Dollar Standard.....	Kazuyoshi MATSUURA··· 81
Producing Capital $G - W \cdots P \cdots W' - G'$	Yutaka KOJIMA···103
From "Independent League for European Cooperation" to "European League for Economic Co-operation"	Takeshi KOJIMA···123
Regime Change of Social and Economic System : Reconstruction from the East Japan Great Disaster & the Fukushima Nuclear Power Plants Severe Accident (1)	Seiichi NAGASHIMA···139
The Sustainable Consumption : two versions (2)	Masahiro FUKUSHI···157

Note

Economic Policy of the British New Labour Party (2)	Masaru ETOH···177
---	-------------------

Published by

TOKYO KEIZAI ASSOCIATION OF ECONOMICS

Kokubunji-shi, Tokyo